

『あなたにとって「水」とはどのような存在ですか。』

この質問をテーマに自身の経験からどのように考えたのか、私の意見を書き進めようと思います。ある日私は研修を目的に大きな農場へと足を運んでいました。そこから見える広大な空には私たちを包むように太陽の光が差し込み、人生で初めて見たともいえる光景が広がっていました。農家さんが概要説明を終えるとはじめは収穫体験をし、その後には農家さんから植物の成長についてお話を伺いました。農家さんのお話の途中でした。一人の学生が体調を崩してしまったのです。先生はその学生を日陰のあるところへ連れていき、休憩を取らせました。先生は私を含めたその他の学生たちにも休憩を取らせ、

「水分補給をしっかりとね」

と言いました。休憩を取ってからまた農家さんのお話の続きを聞き、次の日に向けて大切なことをメモしたり、何を学んだのか記録にとったりしました。

数週間後、届いた写真を眺めながら研修での出来事を思い出し、数々の楽しかった思い出に浸っていました。そして、農場に来たことも振り返りました。そこで私はこんなことを疑問に思ったのです。水分補給はどれくらい重要なことなのか、もしも水分を取らなかつたらどうなってしまうのかということでした。農場にいたときは考えもしなかつたことですが、とても不思議に思えたのです。確かに水を飲むことは大事だと教わったことがあります。しかし、水分を取らないとどうなるのか経験したことがなかつた私は調べようと思っただけです。

調べてみると、水をたくさん飲むことによつて血流の改善や体の健康を保つ効果があるのだと分かりました。また、脱水症という体の水分が不足した状態になると、重症な場合は命の危険性にもなりかねないことも知りました。身近にある「水」は私たちの生活において重要な役割を担っており、とても大きな存在だったのです。一方、その水が不足してしまうと、私たちの体に大きな影響を及ぼすことも考えられます。私は生活する上で必要な資源である「水」を大切にすることがあると思えました。水は限りある資源で、無駄に使ってしまうと何十年後、何百年後にはなくなってしまうかもしれないからです。

そこで私は自分でできることを考えました。歯磨きをするときやシャワーを浴びる際に水を出しっぱなしにしないことです。他にも、食べる分だけの食材を買うということができると思いますが。私たちが買っている野菜や肉などは農家さんが育てています。野菜を育てたり飼育したりするときにもたくさん水を使おうでしょう。私たちは自分たちが目に見える形で水を使っているだけでなく、食材を通して間接的に水を使っていることもあるのです。そのため、普段買っている食材などをしっかりと食べ、捨てないようにすることも大切だと考えたのです。このようにすると、食品ロスにもつながるため、環境にとつても良い行動だと思えます。

水は私たちにとって大切な存在であり、時には人の命を奪う恐ろしいものでもあります。そんな計り知れない力をもつ「水」と私たちがどう向き合うのか、そしてどんな行動を起こすのかがこれからの社会で大事なことになってくると考えました。